

令和元年 7 月 26 日  
中部地方整備局  
港湾空港部

## 農産物を清水港から世界へ ～農産物輸出促進に向けた海上輸送試験を行います～

現在、農林水産業の成長産業化の確立に向け、政府をあげて農林水産物・食品輸出促進に取り組んでいるところです。

今般、農産物の輸出促進を図る上で、海上輸送における課題抽出と対応策を検討するため、高規格冷蔵コンテナを用いた農産物の海上輸送試験を行います。

つきましては、清水区内の低温倉庫にて、海上輸送試験に係る報道関係者向け見学会を開催します。

### 1. 報道関係者向け見学会概要

日 時：令和元年 8 月 2 日（金） 13：00～14：00

場 所：昭和冷凍(株)本社倉庫（静岡県静岡市清水区袖師 1308-20）

内 容：①海上輸送試験の取り組み説明  
②バンニング\*状況見学（撮影可）  
※コンテナ内に貨物を詰め込む作業



### 2. 添付資料「清水港をモデル港とした農産物海上輸送試験概要」

### 3. 取材

- ・取材を希望される方は、7 月 31 日（水）17 時までに、別紙により FAX にてお申し込みをお願いいたします。
- ・当日は、12 時 45 分までに見学会場にお集まりください。  
※駐車場がございますが（別紙）、台数が限られております。極力乗り合せのうえご来場ください。
- ・カメラ等撮影は可能です。なお、取材の際は、報道機関名がわかる取材者証（腕章）等の着用をお願い致します。また、低温倉庫内で見学会を行いますので、防寒着（ジャケット、コート等）をご持参いただくようお願いいたします。
- ・倉庫内の立ち入りにつきましては人数制限があるため、申し込み状況によって入場を順番制といたします。

### 4. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、静岡県政記者クラブ、静岡市政記者室、港湾新聞社、港湾空港タイムス、日本海事新聞社、海事プレス、マリタイムデーリーニュース

#### <お問い合わせ先>

国土交通省中部地方整備局 港湾空港部 港湾計画課

課長補佐 江口 秀人（えぐちひでと） 係長 平野 年洋（ひらのとしひろ）

TEL：052-209-6323 FAX：052-203-9739



# 清水港をモデル港とした 農産物海上輸送試験概要



国土交通省

国土交通省  
中部地方整備局

令和元年8月2日

## 背景

政府では、農林水産物・食品の輸出拡大に向けた取り組みを推進しています。

中部地方整備局でも、農産物の海上輸送による輸出を促進するため、今年度、清水港をモデル港とし、高機能冷凍・冷蔵コンテナを用いた農産物の輸送実験を実施します。

### ※海上輸送

鮮度確保が必要な野菜、果物などは短時間で輸送が可能な航空機輸送が主流ですが、近年、長期間の鮮度保持が可能な高機能冷凍・冷蔵コンテナが開発され海上輸送が可能となりつつあります。大量輸送が可能な海上輸送は、航空機輸送と比較し輸送費を大幅に抑えることができるため、価格競争力が向上します。

## 清水港における取組

静岡県では、「農水産物輸出促進計画(清水港)」の策定により、2018年2月、国土交通省から「農水産物輸出促進基盤整備事業」に認定されました。これにより、新興津コンテナターミナルに農水産物の海上輸送に必要な96口のリーファープラグが新たに整備されました。

また、清水港では、これまでに2回の農産物輸送試験(実施主体:静岡県)や川上村(長野県)のレタスの輸出など、農産物輸出促進に向けた取り組みを実施しています。

さらに、現在整備中の中部横断自動車道が、2020年には全線開通予定であり、供用後は、清水港への農産物の集荷に期待できます。



川上村レタス 輸出前植物検疫



新興津コンテナターミナルに設置されたリーファープラグ



高規格幹線道路網の整備と農水産物集荷イメージ

## 農産物輸送試験 (4回実施予定)

### 輸送前

生産・集荷  
(産地間連携)



ピッキング  
(中央卸売市場)



・輸送実験を行う農産物を選定

輸送前品質確認  
(低温倉庫)



・重量、糖度、酸度、硬度、色彩等に関する品質検査(事前)

パッキング  
(低温倉庫)



・高機能冷凍・冷蔵コンテナへの農産物の積込とともに温度、湿度、振動を確認するためのセンサーを設置

### 輸送中

清水港



海上輸送

(シンガポール)  
星港

・輸送環境(温度・湿度・振動等)を計測

### 輸送後

輸送後品質確認  
(試験場)



・重量、糖度、酸度、硬度、色彩等に関する品質検査、官能評価(事後)

販売



第1回輸送試験のスケジュール

8月1日(木)

8月1日(木)

8月2日(金)

8月6日(火)

8月17日(土)

8月20日(火)

## 農産物の輸出の流れと輸送実験の概要

## 輸送試験で期待できる効果

- 海上輸送に適した季節ごとの農産物の把握が可能となる。
- 現地ニーズの把握が可能となる。
- 効率的な海上輸送に必要な対策の把握が可能となる。



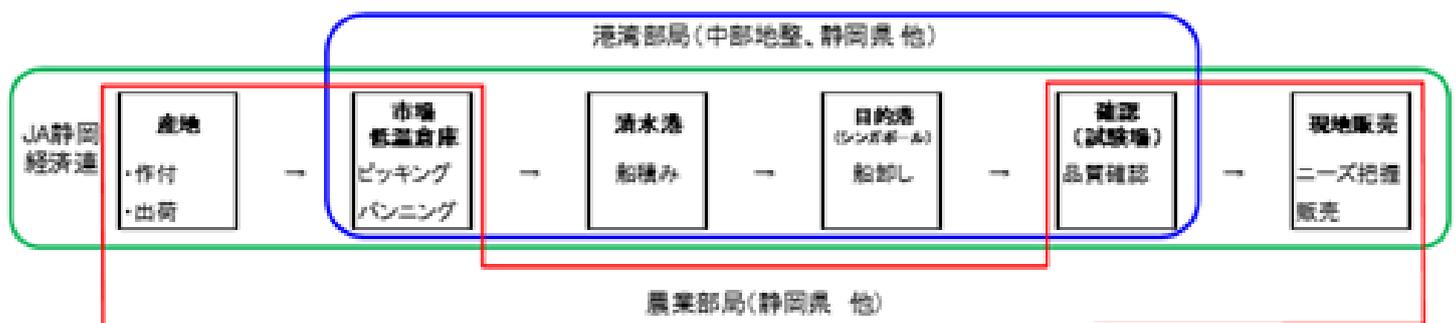
生産者に向けた輸出用農産物生産量拡大のPR  
物流効率化に向けた対策の実施

生産→仕入れ→輸送→販売の  
ビジネスモデル構築



**農産物輸出促進**

## 取組の体制



- 港湾部局** : 輸送試験を通じ、産地と連携し港湾から農産物を効率的に輸出するために必要な対策を検討。
- JA静岡経済連** : 農産物輸出における全体のコーディネート、輸送試験を通じ、販売先の拡大、ビジネスモデルの構築。
- 農業部局** : 輸送試験を通じ、現地でのニーズ把握、生産者へ輸出用農産物生産拡大のPR、産地間連携への協力・支援。

## 輸送試験のスケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
準備		○		○		○		○	●
第1回輸送試験		●							
第2回輸送試験			●						
第3回輸送試験				●					
第4回輸送試験					●				
とりのまとめ									●
		・桃、ぶどう、白苺等		・メロン、トマト等		・みかん、柿等		・いちご、キャベツ等	

※輸送試験の間隔は、約2ヶ月に1回を予定。詳細な日程、輸送する品目については、今後調整。